

若者定住、子育て支援など 安心して暮らせるまちづくりを目指す

景山町長就任あいさつ



住民主体の地域づくりを推進

先日の町長選挙におきまして、町民各位の「信任」をいただき、二期目の町政を担わせていただくことになりました。どうかよろしくお願いいたします。

まず、一期目の4年間を振り返りますと、就任当時は町財政が破たん状況にあり、厳しい出発となりました。

このような状況から1年でも早く脱出し、何としても再建しなくてはとの思いで奔走し続けたところです。

しかし今日では、公債費（借金の返済）比率は高いものの、単年度収支は黒字に転換し、剰余金も町の基金（貯金）に積み立てることができています。

このように、短期間で再建のめどが立ったのも、町民の皆様のご理解とご

協力のたまものであると感謝しております。

めどが付いたと申しましても、財政運営が依然厳しいことには違いありません。政権交代もあり、国も厳しい財政運営の中、地方主権の政策実現が叫ばれていますが、住民主体の地域づくりを實行しなくてはなりません。これは住民も大きな責任を担うことでもあります。この町に合った施策が必要で、今までのような中央主導の、金太郎飴のような地域づくりではいけません。

3つの柱で町政に取り組み

そのような背景の下、二期目の施策の柱としては、一つには、「収支バラ

スの取れた財政の健全化」に努めること。二つには、少子高齢化の進む中、「若者が定住できる環境づくり」を目指すこと。三つには、福祉・教育面での「安心して子育てのできる支援」の実現を大きな柱にしたいと思っています。

まず、財政の健全化については、平成22年度当初予算は収支バランスの取れた予算となっております。また、実質公債費比率も、平成24年ごろを目途に、現在の30%から、国の基準である25%を下回る見込みです。そうなれば安定した財政の下に予算執行が可能となりますので、皆さんが行政に参画する「身の丈に合ったまちづくり」を進めようではありませんか。

若者定住のための環境づくりでは、昨今の経済状況からして、新たな企業誘致とはいきませんので、今ある事業所を大切にしながら就職していただき、

定住対策として若者向け住宅の建設にも取り組んでまいります。

次に、安心して子育てができるための支援ですが、保育所に安心してお子さんを預けていただき、未就園児に対しても内容を拡充し、育児不安の解消にも取り組みます。

また、学童の居残り支援として、「放課後子ども教室」を、根雨小学校、黒坂小学校に開設し、地域の皆さんの参加をいただきながら、子どもたちの安全の確保と健全育成を目指していきます。

特色あるまちづくりを

このように、町全体がそれぞれの使命を果たしながら、特色のあるきらりと光るまちづくりをしようではありませんか。今後4年間お世話になりますので、よろしく願いいたします。

「若者の定住推進に力を」 職員に訓示

景山町長就任式

2月16日、景山町長の2期目の就任式が町役場で開かれました。

式に先立ち、町長は町職員に迎えられ役場に初登庁、歓迎の花束を受け取りました。

式では、職員を前に、次のように訓示しました。

『今回の選挙では、若い人の立候補を期待していたが残念ながら無投票となった。まちの皆さんから「まだやり残したことがあるのでは」「1期目の総仕上げをすべき」との声もあり立候補を決めた。これからの4年間、手を取り合って、きらりと光るまちづくりを進めたい。今後はソフト面、特に若い人たちが住んで良かったと思っただけのような施策に力を入れていく。職員の皆さんには4年間、大変だが創意工夫して町民の付託に応えるよう努力してほしい』



「高齢者が安心して暮らせるまちを」とも語る